

歪められた行政

加計・森友問題の徹底解明と 国民本位の公務員制度めざす

11・22 シンポジウム

衆院選が終わろうと加計・森友問題の徹底解明は引き続き必要です。国公労連のインタビューに前川喜平さんは、「安倍政権による行政の私物化の疑いは極めて濃厚で、そのために仕事をさせられた国家公務員は『下僕』になってしまった」と語っています。国公労連は、歪められた行政をただし国民本位の公務員制度をめざすためシンポジウムを開催します。

とき 11月22日(水) 18:00 ~ 20:50

ところ 平和と労働センター
全労連会館2Fホール

御茶ノ水駅から徒歩 10分 「全労連会館」「地図」で検索

参加費無料、事前登録なしで
どなたでも参加いただけます

18:10~19:10

講 加計・森友隠しの安倍政権に
私たちはどう対峙するか

演 中野 晃一(上智大学教授「市民連合」呼びかけ人)



19:10~20:50

シンポジウム 国民本位の公務員制度を考える
～国公労連の提言を公表～

- 中野 晃一 上智大学教授
- 晴山 一穂 専修大学教授
- 鎌田 一 国公労連書記長
- 国の行政現場から



前川喜平さん(前文科事務次官)が
インタビュービデオで参加

主催 日本国家公務員労働組合連合会(国公労連)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-17-14 西新橋エクセルアネックス 3階 TEL03-3502-6363 / E-Mail:mail@kokko.or.jp

国公労連 で検索